

科名 外科
 対象疾患 治癒切除不能な進行・再発大腸癌
 プロトコール名 Cmam+XELOX(アロカリス併用)(初回)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート ファモチジン注 ネオレスタール	0.75mg 235mg 9.9mg 20mg 10mg	30分かけて	↓						
3	点滴注	側管	デキサート ネオレスタール 生食	6.6mg 10mg 50mL	30分かけて			↓		↓		
4	点滴注	側管	アービタックス 生食	400mg/m ² 250mL	医師の指示通り	↓						
5	点滴注	側管	アービタックス 生食	250mg/m ² 250mL	医師の指示通り			↓		↓		
6	点滴注	側管	オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 500mL	2時間かけて ルート毎変更	↓						

内服 ゼローダ 1回1000mg/m²を1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<オキサリプラチン>

アレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

デキサートは6.6～19.8mgで選択可。

<アービタックス>

初回投与量は400mg/m²を2時間かけて、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて点滴静注する。

投与中及び投与終了後少なくとも1時間はバイタルサイン等をモニタリングする。

投与前後は生食でフラッシュすること。

終了後、1時間ルートキープにて休薬する。

使用にあたってはEGFR陽性、KRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

<ゼローダ>

14日間内服7日間休薬

1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA) < 1.36m²は1200mg/回(4Tab)

1.36m² ≤ BSA < 1.66m²は1500mg/回(5Tab)

1.66m² ≤ BSA < 1.96m²は1800mg/回(6Tab)

BSA ≥ 1.96m²は2100mg/回(7Tab)